

アフリカでのラミネート機材の普及をケニアから 産業人材を育成することで自国の工業化を促す

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社ラミーコーポレーション(大阪府大阪市、奥野 明 代表取締役)が提案する「ラミネート機材の普及を通じた職業訓練体制強化のための案件化調査」(ケニア)を採択しました。

ケニアは都市化による貧困層が増加し、若年層を中心とした深刻な失業問題を抱えています。提案技術によるラミネート機材の組立、製造、修理技術を学んだ若年貧困層の人々が手に職をつけ雇用機会が拡大され、収入が増加することによって「貧困削減」、「持続的成長」が実現され、経済・社会の安定確保に貢献できます。

提案製品であるラミネーターはオート機能を有し、フィルム交換もカセット方式を採用しており操作・メンテナンスが容易です。



世界初オートラミネーター



同社で研修中のケニアからの留学生

同社は ABE イニシアティブ (注 1) による留学生の帰国後の起業支援を行う「アフリカ・ラミー共同体構想」を実施すべく活動を開始し、ケニアからの留学生を受け入れました。ケニア産業人材育成に即した ODA 案件の形成を効率よく進めるための調査を実施します。

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注 2) として実施され、今後の契約交渉後、契約に至ったものから順次調査を実施します。

(注1) アフリカの若者のための産業人材イニシアティブ

(注2) 案件化調査は、2012年度から実施されており、今回は全国で36件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2017 年度第 1 回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 企業連携課 担当 中山

TEL 078-261-0397 e-mail : Nakayama.Shigehiko@jica.go.jp